

中原消防団 広報誌

号外
発行 平成 24 年 5 月
題字 中 田 隆 氏

翔太



中原消防署に在籍した3年間は、消防人生の中で、最もやりがいのある日々を過ごせたことを大変感謝しております。



川崎消防署長
(前中原消防署長)
山口 高 広

ありがとうございます ございまして

消防団の皆さんには、「うるさい署長が来た」と感じられたことが多々あったかもしれませんが、「市民の目線で、市民の立場に立って」という私の基本理念に基づき、消防団はこうあるべきだという思いで、いろいろな事をすすめてさせていただきました。

そして、大谷前団長、田中団長、さらに数多くのOBの方々のお力添えを頂き業務を推進することができました。本当にありがとうございます。

昨年、大谷前団長、田中団長の存在感の大きなことを区民の皆さんは痛感していることと思います。その期待に応えるためにも、田中団長を中心としつかりとしたチーム力を発揮していただきたいと思っております。

また、操法大会におかれましては、「金の纏」の常置場所が中原消防団室となるよう頑張っていたいだきたいと思っております。私にとっては非常に短い期間であり、まだまだやりたいことはたくさんあります。本当にお世話になりました。

さて、中原消防署は平成十五年の警防第1課長以来、九年ぶりの勤務となります。この間に中原地区は、目覚ましい変化を遂げているところであり、とりわけ小杉地区の大規模な再開発により高層マンション群が立ち並ぶ姿は、見ようによっては大都市東京のオフィス街であり、あるいは近代的な建築物の美術館として風景美を醸し出しています。また、交通網では、東横線に地下鉄が接続されるほか、JR横須賀線武蔵小杉駅が新設されるなど都心へのアクセスが格段と便利になり、副都心としての機能が充実し、今後も人口の増加が見込まれていくところです。

この再開発の発展に歩調を合わせるように、高層建築物に対する防災対策の充実が望まれているところであり、とりわけ昨年の東北大地震以降、多くの課題が投げ掛けられているところです。

このような状況を踏まえ、益々地域防災の担い手である消防団員の位置づけ、役割の重要性が再認識されているところであり、人員、資機材、そして災害対応能力の充実が求められているところとす。私たち消防職員も災害対応能力の充実に努めると共に、様々な場面で消防団活動を充実させて頂くために、その能力を発揮できるように支援をさせていただきます。

したが、川崎消防署に異動することとなりましたが、中原と同じ思いで市民の負託に応えられるチーム造りに邁進することとしております。引き続き、ご協力をお願いいたします。通勤経路に中原がございますので、よろしくお願いたします。

平成二十四年四月一日、山口高広署長の後任として着任しました小林英木です。日頃は、消防行政に絶大なご協力を頂き誠にありがとうございます。



中原消防署長
小林 英 木

着任のご挨拶

さて、中原消防署は平成十五年の警防第1課長以来、九年ぶりの勤務となります。この間に中原地区は、目覚ましい変化を遂げているところであり、とりわけ小杉地区の大規模な再開発により高層マンション群が立ち並ぶ姿は、見ようによっては大都市東京のオフィス街であり、あるいは近代的な建築物の美術館として風景美を醸し出しています。また、交通網では、東横線に地下鉄が接続されるほか、JR横須賀線武蔵小杉駅が新設されるなど都心へのアクセスが格段と便利になり、副都心としての機能が充実し、今後も人口の増加が見込まれていくところです。

この再開発の発展に歩調を合わせるように、高層建築物に対する防災対策の充実が望まれているところであり、とりわけ昨年の東北大地震以降、多くの課題が投げ掛けられているところです。

このような状況を踏まえ、益々地域防災の担い手である消防団員の位置づけ、役割の重要性が再認識されているところであり、人員、資機材、そして災害対応能力の充実が求められているところとす。私たち消防職員も災害対応能力の充実に努めると共に、様々な場面で消防団活動を充実させて頂くために、その能力を発揮できるように支援をさせていただきます。

したが、川崎消防署に異動することとなりましたが、中原と同じ思いで市民の負託に応えられるチーム造りに邁進することとしております。引き続き、ご協力をお願いいたします。通勤経路に中原がございますので、よろしくお願いたします。



中原消防団長
田 中 実

団員定数確保 実現のお願い

団員の皆様には日頃、地域の防火・防災にご尽力頂き心から感謝とお礼申し上げます。さて、四月一日付で前署長山口高広様が川崎署長へ、前副署長細沼標旨様が幸署長へ、それぞれ異動昇任されました。在任中はお世話になりました。あらたに多摩署から小林英木

様が署長に、高津署から森下泰弘様が副署長に着任されました。前任者同様ご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。現在、中原消防団では常に団員定数に対し10%以上の不足を招いています。中原区は川崎市内で人口トップの二十三万五千人に達し、

人口増加率にあつては日本一の増加率を誇っています。加えて人口密度も市内でトップクラスにあり、去年の東日本大震災の次は首都直下地震等だと多方面で叫ばれているなか、是非とも団員定数の充足が望まれます。団員の皆様には大変お忙しいなか恐縮に存じますが、

ひとりでも多くの仲間を迎え入れて頂きたいと願っております。これからも区民の皆様と協力し、災害から少しでも被害を小さくするために防災訓練や啓発活動を通じ減災に努めてゆきたいと考えます。団員定数二百六十五名の実現を！

中原消防団の編成

本団

団長	田中 実	副団長	川野正久
副団長	生坂征一	警護部長	布施行雄
庶務部長	小島光儀	広報部長	田邊晴輝
消防部長	三上能樹		

中原分団 45人

大戸分団 54人

住吉分団 64人

玉川分団 42人

丸子分団 38人



分団長 藤 芳 廣
副分団長 遠 藤 成 瀬
副分団長 原 健 二



分団長 天 野 宣 雄
副分団長 鹿 島 連 雄
副分団長 山 本 静 一



分団長 邊 昌 美
副分団長 田 鈴 木 照 明
副分団長 鳥 海 信 明



分団長 原 充 功
副分団長 戸 田 進 司
副分団長 加 藤 謙 司



分団長 佐 藤 正 義
副分団長 倉 倉 幸 夫
副分団長 石 井 学



高さ10メートルアルミ合金製

消防大会（六月十日（日））で新団旗が掲がる

等々力緑地催し物広場に 国旗掲揚ポール設置される



3月29日 完成お披露目式
団長・団幹部も参加

平成七年に発生した阪神・淡路大震災の被災地において、通信手段を確保するため、平成六年度二次補正予算で移動通信機器を購入し、地方公共団体等に無償貸与し、災害応急復旧のために活用されてきました。総務省は平成十八年度新規予算として非常災害時に速やかにMCA (Multi Channel Access) 無線及び簡易無線を貸し出す体制を構築する計画を立て、この計画に基づき、災害対策用移動通信機器として、MCA無線機及び簡易無線を購入し、民間企業と委託契約を締結して東西二カ所に備蓄基地を設け、保守及



① MCA無線機導入の背景

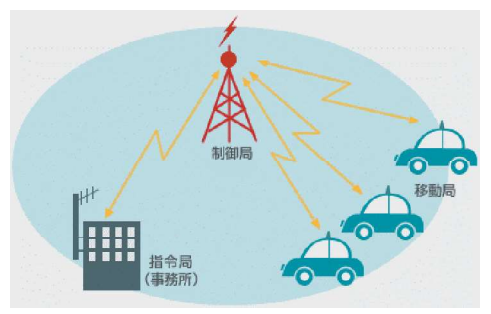
MCA無線機の導入について

び運搬を委託することとなりました。現在のところ阪神・淡路大震災から新潟県中越地震までの豪雨災害、火山噴火等の計十一回の災害において活用されています。今回、平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災を期に、平成二十三年度の特別予算で全国の消防団へMCA無線機が配置となりました。

② MCA無線システムとは
MCA無線システムは、昭和五十七年に財団法人移動無線センター（MRC）により八〇〇MHz帯を使用して東京地区で初めてサービスが開始され、公共業務やタクシー業務でも利用が可能となり、デジタルMCAシステムを利用したデータ通信等の様々なサービスが実現されています。財団法

③ 消防団の運用について
川崎市では、平成二十四年四月一日よりMCA無線機の運用が開始されました。

人移動無線センター系列の8法人（全国八つのプロックでそれぞれサービスを提供）と、財団法人日本移動通信システム協会（全国でサービスを提供）がMCA無線システムの運営を行い、総利用局数は、平成十九年九月末現在で約39万局となっているシステムです。



中原消防団では、運用前から通信訓練及び通話試験も定期的の実施していますが、無線機を起動する要員、通話が送信されるまでのタイムラグなどの無線機本体の取扱いや、国一斉通話、あるいは個別通話のルール作り等と、更なる訓練と検証を行い確実な意思伝達を目指す必要があります。また、平成二十四年度には、消防団用の所轄系トランシーバーも個人貸与されますので、併せてトランシーバーの取扱には十分習熟をお願いします。

（中原消防署消防団担当）

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」号外をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者 田中 実
編集 中原消防団広報部
広報部長 田邊 晴輝
中原分団 坂西 利秋
大戸分団 峯岸 雅宏
住吉分団 猪股 昌美
玉川分団 横山 秀樹
丸子分団 若島 真弓
山本 喜道